

日美ミニ通信

【今月のメイン記事】

- オビも大切!
- H-UV機稼働開始!
- バック?バグ?



◆日美ミニ通信は人に優しいIUD書体を使用しています。



危機管理
「攻めの」5アプローチ
中澤 幸介 著

オビだって本の一部だ...

装丁だけでなく、オビにも工夫をこらした、こだわりの一冊!

先ごろ、新建新聞社東京本社様から単行本の印刷のご依頼をいただきました。内容は今大変注目されている災害時のリスク管理に関するものです。大変わかりやすく、活字の苦手な私でもすう～っと頭に入ってくる感じでした。

最近は装丁に凝った本が多く見受けられます。この本も表紙回りにひと工夫を凝らした一冊となりました。

まず、表紙カバーに何か工夫が欲しいということで、①デザイン文字を型抜きしてアクセントにしたらどうか ②デザイン文字をマトリックOPニスで強調しバック全体はマットニスを引きコントラストをつけ

たらどうか…の2つの案を提案させて頂き、実際に本番と同じ用紙でテスト印刷を致しました。その結果、ニス加工の採用となり表紙カバーを仕上げました。

表紙カバーの打合せをさせて頂く中でカバーに付ける「帯（オビ）」がすぐ取れてしまうのがどうもよくないとお話があり工夫をする事になりました。色々試行錯誤致しましたが「コレは!」と云った案がなく困っていたところ「表紙カバーに切込みを入れてそこに差し込んだらどうか?」というご提案を頂きました。

早速サンプルを作り、検討を重ねて頂いた結果、写真の様なすぐに取れない帯が

出来上りました。取れにくいという実用面だけでなく、通常四角いままの折込の部分が矢印の様な形になり、中々ユニークなオビとなりました。

皆様、本を買っていただきて読んでいただきたいのはもちろん、カバーと帯の仲の良さもご確認ください。貴重なご提案と様々なご助言を頂きました著者の新建新聞社・中澤幸介様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



お客様サポート部 山崎正義

ありがとう440!! よろしく437!!



こんにちは
437!

去る8月9日～10日、当社で長年使用してきた菊全版4色機「LITHRONE-440(通称ヨンマル)」と最新鋭H-UV(ハイブリッド・ユーブイ)印刷機「LITHRONE-A437(通称ヨンサンナナ)」の搬出、搬入作業が行われました。

「440」は当社が社屋を新築して以来17年半にわたり主力機として活躍してくれました。忙しいときには、昼夜を分かたず文句も言わず(機械ですから当たり前ですが….)フル稼働してもらいました。機械にもクセがあり時々へそを曲げる事もありましたが、懸命に実によく働いて、当社を支えてくれました。

8月9日の搬出当日は、気温35℃を超える中はるばる県外からやって来た運送業者の「さすがプロ!」という搬出作業の手際の良さに感心しつつ、一抹の寂しさを感じながら「440」を見送りました。最後は唯々感謝しか有りませんでした。



440搬出作業風景



さらば! 440

老兵の「440」ですが、お払い箱になるのではなく第二の人生を海外で送ること…。きっと海の向こうでも活躍してくれる事でしょう。

そして翌8月10日には、待ちに待った新印刷機「LA-437」が搬入されました。今度の機種は、UVランプの照射により速乾で刷了される最新鋭機種です。より早く綺麗に印刷が仕上がり短納期にも即応。また幅広い素材に印刷が可能なもの魅力で、0.6mmの厚物素材やペット素材、アルミ箔を貼った素材(蒸着紙)などにも印刷が可能で、新しい印刷の可能性が広がります。パウダーレスで環境にも優しい機種です。

新鋭機の元力を合わせてお客様のご要望にお応え出来るように更に努力を致します。



商品生産部 竹元伸介

ティーバッグorティーバック

印刷物の制作過程の中で「校正」は言うまでも無く大変重要な役割を担っていますが、実際に校正を進めていくなかで、「これは?」という言い回しや文字の使い方に出会うことがあります。

以前食品のチラシをレイアウトしたとき、入稿した原稿のなかに「ティーバック●●円」という値書きがあり、そのまま文字を打ち込んでレイアウトし校正に廻したところ、校正担当者から「ティーバックだと水着や下着のTバックになってしまってここはティーバッグじゃないですか」と訂正を出されたことがあります。

原稿通りに作っておけばいいんだあ…という安易な考えを指摘されたので、すごく恥ずかしい思いでした(考えて見ると普段言葉にするときもティーバックと言っているような気がします)。

この他にも間違えやすい言葉や字句は沢山あります。社内でも校正の勉強会を開いていますが、集中して慎重に校正にあたり、お客様により安心して当社をご利用頂けるように心掛けて参ります。



商品生産部 田中

お出かけ情報

ECOMACO・ウェディングフェア開催

Wedding Fair

縋つなぐ、まったく新しいドレスをみつけてください。

8/30 ~ 9/2

11:00~18:00 要予約 tel 026-226-5684
エコマコ長野店 www.ecomaco.com

外で見かけたおかしな… 今月の WANTED



トラックの荷台に大きく書かれた「お」の文字。思わず「おっ」と見入ってしまいます。「あ」とか「う」もあるのかな? 東信地方の小学生達にはこのトラックを見ると「ラッキー」が訪れる?との噂があります。

私の気に入り My Favorite ○○

暑い日が続き、秋が待ち遠しいですが一足先に「読書の夏」を過ごしております。

この夏、3冊目の本を読みましたが、興味深い1冊があったので、ご紹介します。

それは、伊坂幸太郎作「終末のフール」…。

限られる生を、人はどう生きるのかがテーマ。「8年後に地球が滅亡する」と発表されてから5年。世界中が大混乱に陥る中で、人々はどう生きるのか? 残り3年を前に、平穏な日々を取り戻しつつある、仙台の団地に住む人々をそれぞれ主人公に、愛や家族、人間の本質を見つめる短編8話の作品です。まだまだ暑い夜長に、読書でもいかがでしょうか?

商品生産部 千葉

雪ん子・畔上の 思いがけない一言…

2013年8月6日(火) 天気: 晴

あまりの暑さに冷たいドリンクを求めコンビニへ入ろうとした所、1人のカワイイ男の子が入り口でじ~っと何かを見つめっていました。

ある動物園のポスターでした。そこへ、後ろからお母さんが登場! お母さんに気づいた男の子が一言「お母さん動物園に行きたい! 遊れてって。」

その声を聞いた時、感動で一瞬止まってしまいました、それからニッコリ顔がおさまりませんでした。それは当社で印刷したポスターだったからです。

まさにお客様にお役に立てたことを感じた瞬間でした。生の声を聞いたことも初めてだったので、喜び2倍でした。これを糧にさらにお客様のお役に立てるサポート部員になります。

お客様サポート部 畔上



編集後記



夏も終わりに近づきました(今年はまだまだ暑いですが…). この夏の心残りと云えば一回も「蛍」が見られなかった事でしょうか。

子供の頃は田んぼに行くとよく見られたもので、葱の茎や「ホタルブクロ」の花の中に入れて持ち帰り庭に放しました。

一時期農薬でほとんどなくなってしまったが最近は水の浄化や、減農薬のおかげで彼方此方と復活の話を聞きます。来年の夏は「本も読めるくらい」の蛍の大群を見に行こうと思います。

商品生産部 田中